

## 指定管理業務チェックリスト

## 1 施設の運用全般

No.1

確認する内容の詳細		確認結果	確認方法	備考	
指定の取消事由非該当	1	協定に定める債務について、重大かつ明白な不履行がない	A	聞き取り	
	2	完了検査及び実地検査の執行妨害や虚偽報告がない	A	現地	
	3	協定等に違反する秘密の漏洩がない	A	現地	
	4	個人情報の取扱いにつき、個人情報保護基準に違反する取扱いがない	A	聞き取り	詳細は「3 個人情報保護規定等の遵守」による
	5	手形又は銀行取引停止処分を受けていない	A	聞き取り	
	6	破産等、倒産に関する法律の手続きについて申し立てがなされていない	A	聞き取り	
	7	法律に定義する暴力団(員)が経営等に関与していない	A	聞き取り	
経営状況	8	光熱水費や再委託先への支払いが滞っていない	A	書類	
	9	租税公課の滞納がない	A	書類	
	10	施設賠償責任保険等、協定書等に定める保険に加入(更新)している	A	書類	
	11	直近の財務諸表等が提出されている	A	書類	
	12	●監査報告書 (財務の健全性を脅かす事項の指摘がない)	—	—	
	13	●貸借対照表 (不適切な科目や異常値がない)	A	書類	
	14	●損益計算書 (適正な利益率が確保でき、異常値がない)	A	書類	
15	その他、財務指標なども総合的に評価して、経営の安定性に不安を感じるようなことはない	A	聞き取り		
16	代表者や大口株主の変更などが適切に届けられている	A	書類		
帳簿の整備	17	経理に関する帳簿が作成され、適切に保管されている	A	書類	
	18	利用実績に関する帳簿が作成され、適切に保管されている	A	書類	
	19	日報を作成し、整備、保管している	A	書類	
	20	その他各種帳簿が作成され、適切に保管されている	A	書類	
利用料金	21	条例、又は提案書に規定する基準のとおり定められた料金を適正に収受している	A	書類	
	22	利用料金の一覧表が見やすい位置に掲示されている	A	現地	
	23	キャンセル等による利用料金の還付等は適切に処理されている	—	—	
	24	減免対象者については、基準に適切に減免している	A	書類	

確認する内容の詳細			確認結果	確認方法	備考
管理運営基準の遵守	25	休館日、開館時間は、条例又は提案書に規定するとおり運用されている	A	現地	
利用許可	26	特定の者に有利或いは不利な取り扱いをしていない	A	聞き取り	
	27	(許可申請が競合した場合の)抽選方法等は適当である	—	—	
	28	利用者から利用許可に対する苦情等がない	A	聞き取り	
	29	許可条件等に反するものには、利用許可を与えていない	A	聞き取り	
	30	誰でも簡単に許可申請できる体制となっている	A	現地	
市との連絡	31	月例報告・年次報告・その他必要な報告が適切に提出されている	A	書類	
	32	協定書に定めるセルフモニタリング(指定管理者自らによる業務内容等の総括)を実施し、報告している	A	書類	
	33	事件・事故等が発生した場合、遅滞なく連絡されている	A	現地	
再委託等	34	再委託先から適切に業務報告させるなど、再委託先の業務を適切に管理している	—	—	
	35	再委託した旨を市に届け出ている	—	—	
	36	指定管理業務の全部、又は主たる業務を再委託していない	A	現地	
施設利用案内と利用者のニーズ把握等	37	利用者のニーズを把握するための方策を立て、実行している	A	聞き取り	
	38	利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施している	A	聞き取り	
	39	パンフレット類は整備されているか	A	現地	
	40	ホームページは見やすいもので、適宜、更新されているか	—	—	
	41	その他、利用者増大のための広報を実施している	A	聞き取り	
雇用関係等	42	労働基準監督署に適切に届出等がなされている	—	—	
	43	指定管理業務に障害者を雇用している	—	—	
	44	指定管理業務に高齢者(65歳以上)を雇用している	—	—	
地域貢献等	45	地域住民から苦情があった場合、適切に対応している	—	—	
	46	教育の分野で、地域貢献等の活動に参加している	—	—	
	47	環境の分野で、地域貢献等の活動に参加している	—	—	
	48	まちづくりの分野で、地域貢献等の活動に参加している	—	—	
	49	人権擁護の分野で、地域貢献等の活動に参加している	—	—	
	50	福祉の分野で、地域貢献等の活動に参加している	—	—	

## 指定管理業務チェックリスト(確認結果、確認方法凡例)

## 確認結果凡例

凡 例	内 容	備 考 欄
S	高レベルで実施されており、高く評価できた。	高く評価できた事実を記述
A	適切に実施されており、問題がなかった。(不適切な事実は確認されなかった。)	
B	概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分 が確認されたが、既に改善済みである。	不適切な部分及び改善内容を記述
C	概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分 が確認されたが、現在改善に向けた対応中で、近日 中に改善される見込みである。	不適切な部分及び改善内容を記述
D	不適切な部分の確認されたため、改善を指示した が、未対応又は改善の見込みがなく、指定管理者の 取消し等の処分を検討する必要がある。	事実関係を詳細に記述
■	その他	具体的な事実を記述
—	該当なし	

## 確認方法凡例

凡例	内 容
書類	指定管理者から提出された書類等により確認したもの
聞き取り	指定管理者(統括責任者等)から直接聞き取り調査を行い確認したもの
現地	市職員が直接現地調査を行い確認したもの(従事者から直接聞き取りした場合を含む)
アンケート	利用者アンケートにより確認したもの
その他	その他(備考欄に具体的な方法を記述のと)